

**【表紙】**

<b>【提出書類】</b>	有価証券届出書の訂正届出書
<b>【提出先】</b>	関東財務局長殿
<b>【提出日】</b>	平成27年4月24日
<b>【発行者名】</b>	国際投信投資顧問株式会社
<b>【代表者の役職氏名】</b>	取締役社長 田中 裕之
<b>【本店の所在の場所】</b>	東京都千代田区丸の内三丁目1番1号
<b>【事務連絡者氏名】</b>	永田 英二
<b>【電話番号】</b>	03(5221)6110
<b>【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券に係るファンドの名称】</b>	ユーロ・ソブリン・オープン
<b>【届出の対象とした募集（売出）内国投資信託受益証券の金額】</b>	上限1兆円
<b>【縦覧に供する場所】</b>	該当事項はありません。

## 1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成27年2月3日付をもって提出した有価証券届出書の記載事項のうち、投資顧問契約の解約（予定）に伴う訂正事項がありますので、これの訂正を行うものです。

## 2【訂正の内容】

\_\_\_\_\_部分が本訂正届出書の訂正部分を示します。

## 第二部【ファンド情報】

### 第1【ファンドの状況】

#### 1【ファンドの性格】

##### (1)【ファンドの目的及び基本的性格】

<訂正前>

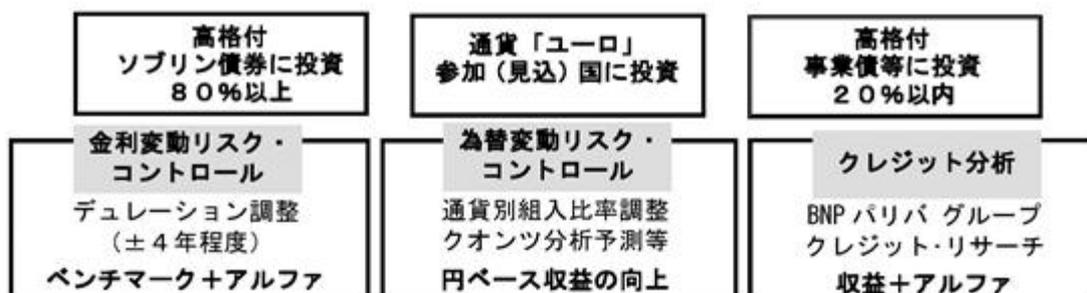
ファンドの特色

(略)

(略)

## ② ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。

- 金利・為替変動リスクのコントロール等により、投資収益の向上を目指します。



- 中長期的な金利・為替見通しに基づき、債券ポートフォリオの国別配分およびデュレーション<sup>\*</sup>、通貨別組入比率を決定します。

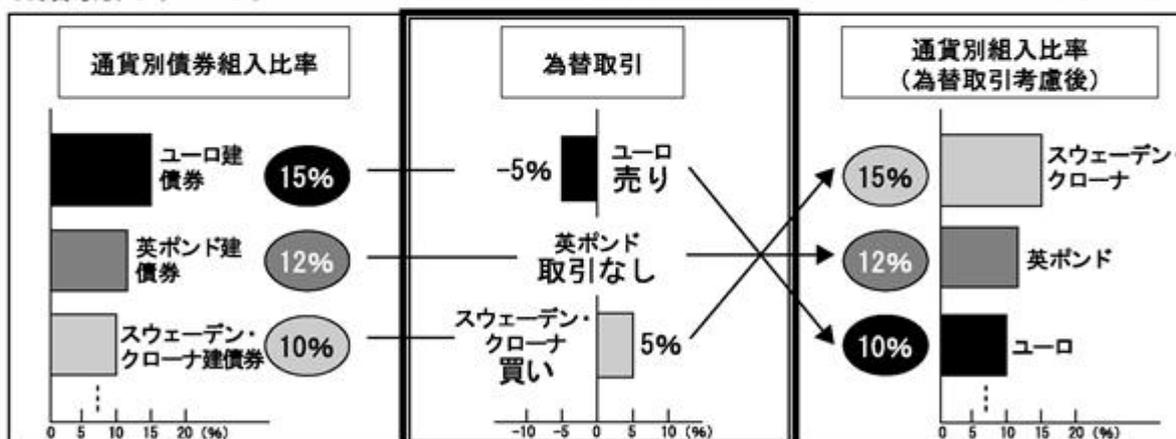
・デュレーションは、ベンチマークに対して±4年程度で調整を行い、ベンチマーク+アルファの追求をはかります。

### \*【デュレーション】

「金利が変動したときの債券価格の変動性」を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標でもあります。例えば、デュレーションの値が「6」の債券は、金利が1%上昇（低下）すると債券価格がおおよそ6%下落（上昇）します。（他の価格変動要因がないと仮定した場合の例です。）一般に、満期までの残存期間が長い債券や利率が低い債券ほど、デュレーションの値が大きく、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

- ・通貨別組入比率の調整は、債券組入比率の調整によるほか、投資収益確保のため一部の通貨で為替取引（相対的に上昇する（強い）と予想される通貨を買い建て、相対的に下落する（弱い）と予想される通貨を売り建てる取引）を行う場合があります。また、対円で為替ヘッジを行う場合があります。

<為替取引のイメージ> ※スウェーデン・クローナが相対的に上昇し、ユーロが相対的に下落すると予想した場合



(注) 上記は、為替取引を簡単に説明するために図表化したものであり、実際のポートフォリオとは異なります。

- シティ欧州世界国債インデックス(円ベース)をベンチマークとします。

シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

ベンチマークを上回る投資成果をあげることを目指し運用を行いますが、これを保証するものではありません。

- BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社のアドバイスを受け、運用を行います。

BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社は、フランスに本拠を置くBNPパリバ グループの資産運用の日本における拠点として、有価証券等に関する投資顧問業務、証券投資信託における委託会社としての業務およびそれらに付帯する業務を行っています。

※資金動向や市況動向等によっては、①、②のような運用ができない場合があります。

(略)

<訂正後>

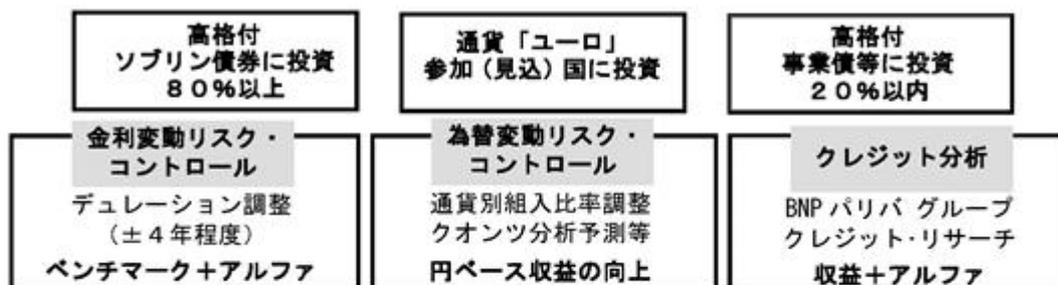
(略)

ファンドの特色

(略)

## ② ソブリン債券を中心とした公社債からの長期的に安定した利子収入の確保とともに、信託財産の成長を目指します。

- 金利・為替変動リスクのコントロール等により、投資収益の向上を目指します。



- 中長期的な金利・為替見通しに基づき、債券ポートフォリオの国別配分およびデュレーション\*、通貨別組入比率を決定します。

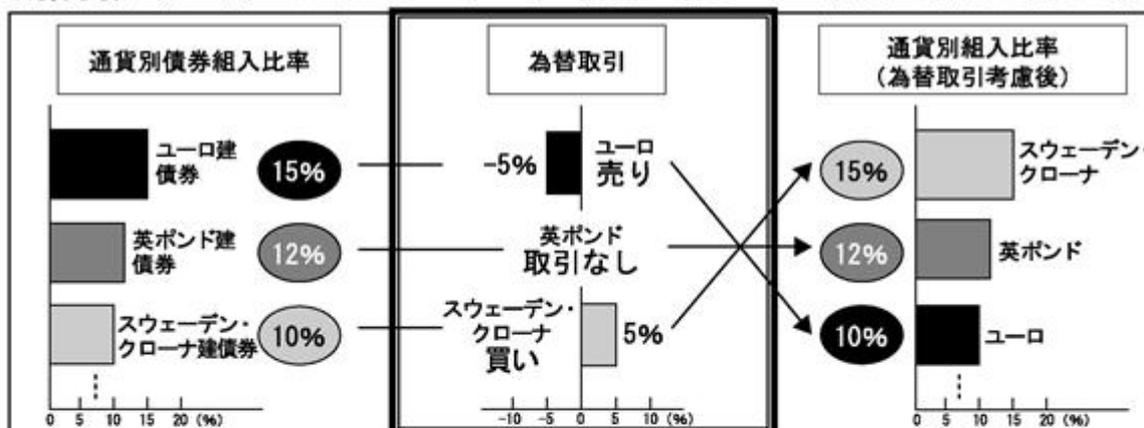
・デュレーションは、ベンチマークに対して±4年程度で調整を行い、ベンチマーク+アルファの追求をはかります。

### \*【デュレーション】

「金利が変動したときの債券価格の変動性」を示すもので、債券に投資した場合の平均投資回収年限を表す指標でもあります。例えば、デュレーションの値が「6」の債券は、金利が1%上昇（低下）すると債券価格がおおよそ6%下落（上昇）します。（他の価格変動要因がないと仮定した場合の例です。）一般に、満期までの残存期間が長い債券や利率が低い債券ほど、デュレーションの値が大きく、金利変動に対する債券価格の変動が大きくなる傾向があります。

- ・通貨別組入比率の調整は、債券組入比率の調整によるほか、投資収益確保のため一部の通貨で為替取引（相対的に上昇する（強い）と予想される通貨を買い建て、相対的に下落する（弱い）と予想される通貨を売り建てる取引）を行う場合があります。また、対円で為替ヘッジを行う場合があります。

＜為替取引のイメージ＞ ※スウェーデン・クローナが相対的に上昇し、ユーロが相対的に下落すると予想した場合



(注) 上記は、為替取引を簡単に説明するために図表化したものであり、実際のポートフォリオとは異なります。

- シティ欧州世界国債インデックス(円ベース)をベンチマークとします。

シティ欧州世界国債インデックスは、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスで、1984年12月末を100とする欧州主要国の国債の総合投資収益を各市場の時価総額比率で加重平均し、指数化したものです。

ベンチマークを上回る投資成果をあげることを目指し運用を行います。これを保証するものではありません。

- BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社のアドバイスを受け、運用を行います。<sup>(注)</sup>

BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社は、フランスに本拠を置くBNPパリバ グループの資産運用の日本における拠点として、有価証券等に関する投資顧問業務、証券投資信託における委託会社としての業務およびそれらに付帯する業務を行っています。

(注) BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社からのアドバイスは、2015年8月3日付で終了する予定です。

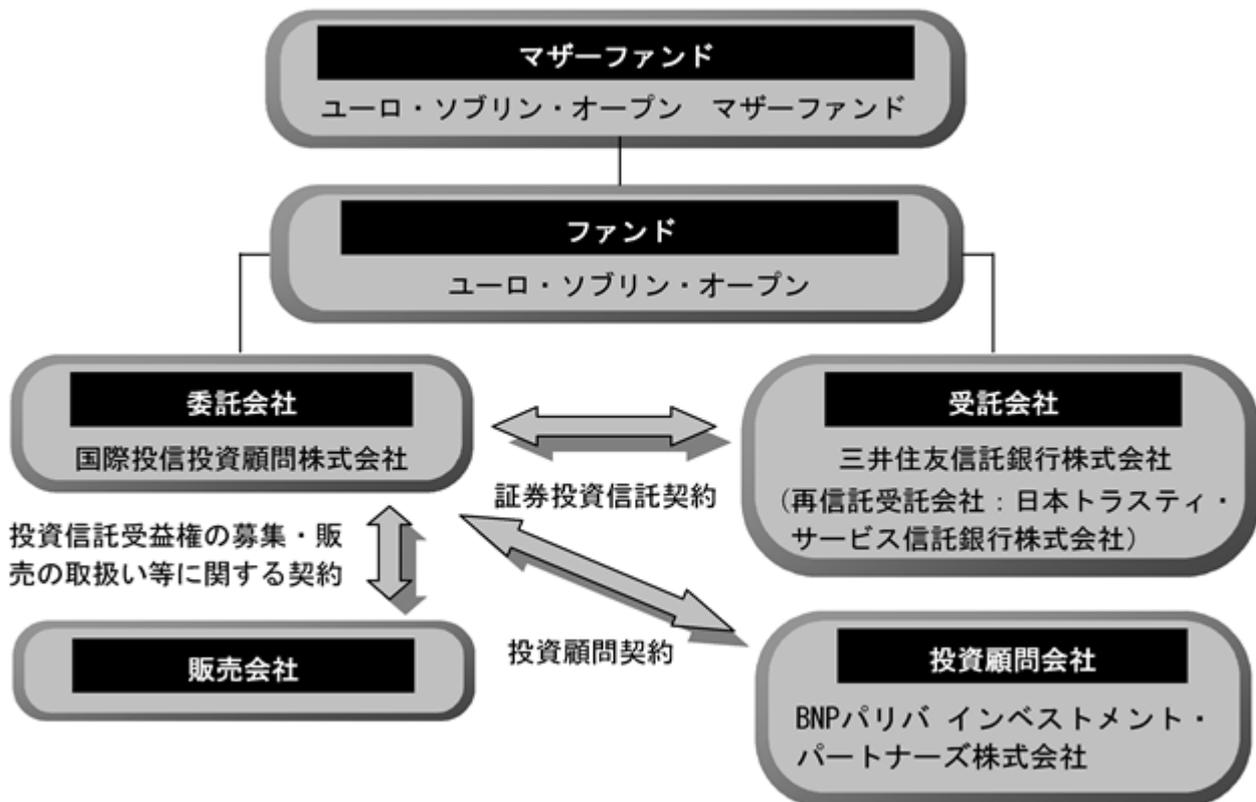
※資金動向や市況動向等によっては、①、②のような運用ができない場合があります。

(略)

## (3) 【ファンドの仕組み】

&lt;訂正前&gt;

ファンドの仕組み



委託会社およびファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割

- 委託会社（国際投信投資顧問株式会社）  
ファンドの運用指図、運用報告書の作成等を行います。
- 受託会社（三井住友信託銀行株式会社、再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）  
ファンドの財産の保管および管理等を行います。
- 投資顧問会社（BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社）  
信託財産の運用に係る助言および情報提供を行います。
- 販売会社  
受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

委託会社が関係法人と締結している契約の概要

- 証券投資信託契約（委託会社と受託会社との契約）  
証券投資信託の運用の基本方針、運営方法ならびに委託会社、受託会社および受益者との権利義務関係ならびに受益権の取扱い方法等が定められています。
- 投資顧問契約（委託会社と投資顧問会社との契約）  
信託財産の運用のための情報および助言等の提供についての方法ならびに投資顧問会社が受ける投資顧問報酬等が定められています。
- 投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約（委託会社と販売会社との契約）  
受益権の募集・販売の取扱い、一部解約事務ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の受益者への支払いの取扱いに関する方法等が定められています。

委託会社の概況

- 資本金（平成26年11月末現在）  
26億8千万円
- 沿革

昭和58年3月1日 国際投信委託株式会社設立

昭和59年12月12日 国際投資顧問株式会社設立

平成9年7月1日 両社の合併により国際投信投資顧問株式会社に商号変更

c. 大株主の状況（平成26年11月末現在）

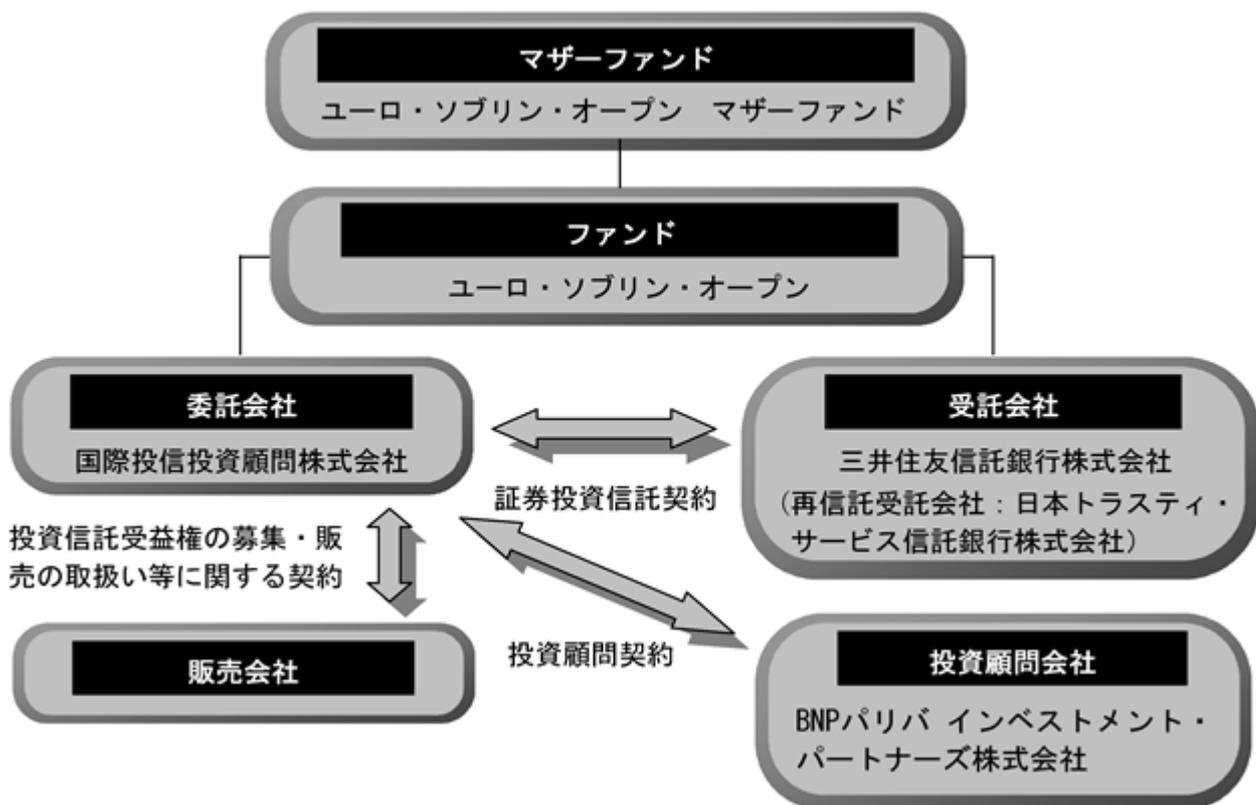
氏名または名称	住所	所有株式数	比率
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号	7,161株	55.09%
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	899株	6.91%
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	644株	4.96%

d. 金融商品取引業者登録番号

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第326号

<訂正後>

ファンドの仕組み



委託会社およびファンドの関係法人の名称、ファンドの運営上の役割

a. 委託会社（国際投信投資顧問株式会社）

ファンドの運用指図、運用報告書の作成等を行います。

b. 受託会社（三井住友信託銀行株式会社、再信託受託会社：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社）

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

c. 投資顧問会社（BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社）

信託財産の運用に係る助言および情報提供を行います。

（注）投資顧問会社との投資顧問契約は、平成27年8月4日付で解約する予定です。

なお、同社からの信託財産の運用に係る助言および情報提供は、平成27年8月3日付で終了する予定です。

## d. 販売会社

受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

## 委託会社が関係法人と締結している契約の概要

## a. 証券投資信託契約（委託会社と受託会社との契約）

証券投資信託の運用の基本方針、運営方法ならびに委託会社、受託会社および受益者との権利義務関係ならびに受益権の取扱い方法等が定められています。

## b. 投資顧問契約（委託会社と投資顧問会社との契約）

信託財産の運用のための情報および助言等の提供についての方法ならびに投資顧問会社が受ける投資顧問報酬等が定められています。

（注）投資顧問会社との投資顧問契約は、平成27年8月4日付で解約する予定です。

なお、同社からの信託財産の運用に係る助言および情報提供は、平成27年8月3日付で終了する予定です。

## c. 投資信託受益権の募集・販売の取扱い等に関する契約（委託会社と販売会社との契約）

受益権の募集・販売の取扱い、一部解約事務ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の受益者への支払いの取扱いに関する方法等が定められています。

## 委託会社の概況

## a. 資本金（平成26年11月末現在）

26億8千万円

## b. 沿革

昭和58年3月1日 国際投信委託株式会社設立

昭和59年12月12日 国際投資顧問株式会社設立

平成9年7月1日 両社の合併により国際投信投資顧問株式会社に商号変更

## c. 大株主の状況（平成26年11月末現在）

氏名または名称	住所	所有株式数	比率
三菱UFJ証券ホールディングス株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目5番2号	7,161株	55.09%
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	899株	6.91%
三菱UFJ信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号	644株	4.96%

## d. 金融商品取引業者登録番号

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第326号

## 2【投資方針】

## （3）【運用体制】

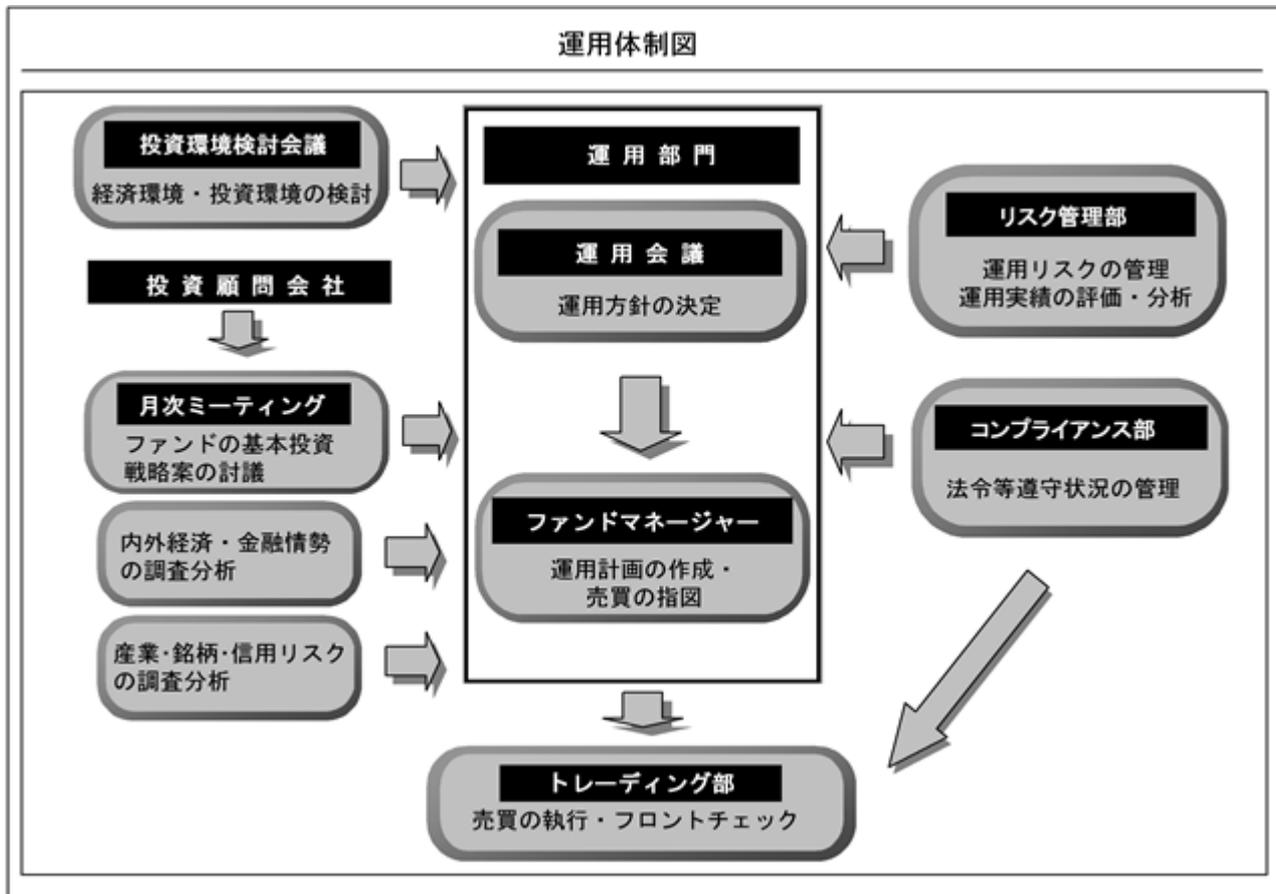
<訂正前>

ファンドの運用に関する主な会議および組織は次の通りです。（平成26年11月末現在）

会議	役割・機能
投資環境検討会議	原則として月1回投資環境検討会議を開催し、経済環境等の長期的な構造変化や中長期的な投資環境について検討を行います。
運用会議	原則として月1回運用会議を開催し、運用方針ならびに収益分配金および収益分配金の決定に関する方針等の決定を行います。

組織	役割・機能
----	-------

運用部門（ファンドマネージャー）	ファンドマネージャーは運用会議にて運用方針が承認された後、運用計画書を作成します。この計画に基づいて売買の指図を行い、ポートフォリオを構築します。なお、随時投資環境、投資対象ならびに資産状況について分析および検討し、ポートフォリオの見直しを行います。
------------------	---



#### 参考

ファンドの運用は、運用部門の債券運用部が担当し、ファンドマネージャー 3 名で運用を行い、トレーディング部、リスク管理部、コンプライアンス部においては総勢30名程度で上記業務に当たっております。

運用体制に関する社内規則等は次の通りです。

委託会社は、「組織規程」において、ファンドの運用方針等を決定する機関として運用会議をおくなどの運用体制を定めています。ファンドマネージャー（運用担当者）の適正な行動基準の確立のために「運用担当者規則」を定めています。

関係法人に関する管理体制は次の通りです。

委託会社は、投資顧問会社の業務執行状況等に基づき、定期的に適正性を確認します。

また、受託会社については、年 1 回、内部統制の整備および運用状況に関する報告書を入手し、その内容の確認を行っています。

（注）組織変更等により前記の名称、人数または内容等は変更となる場合があります。

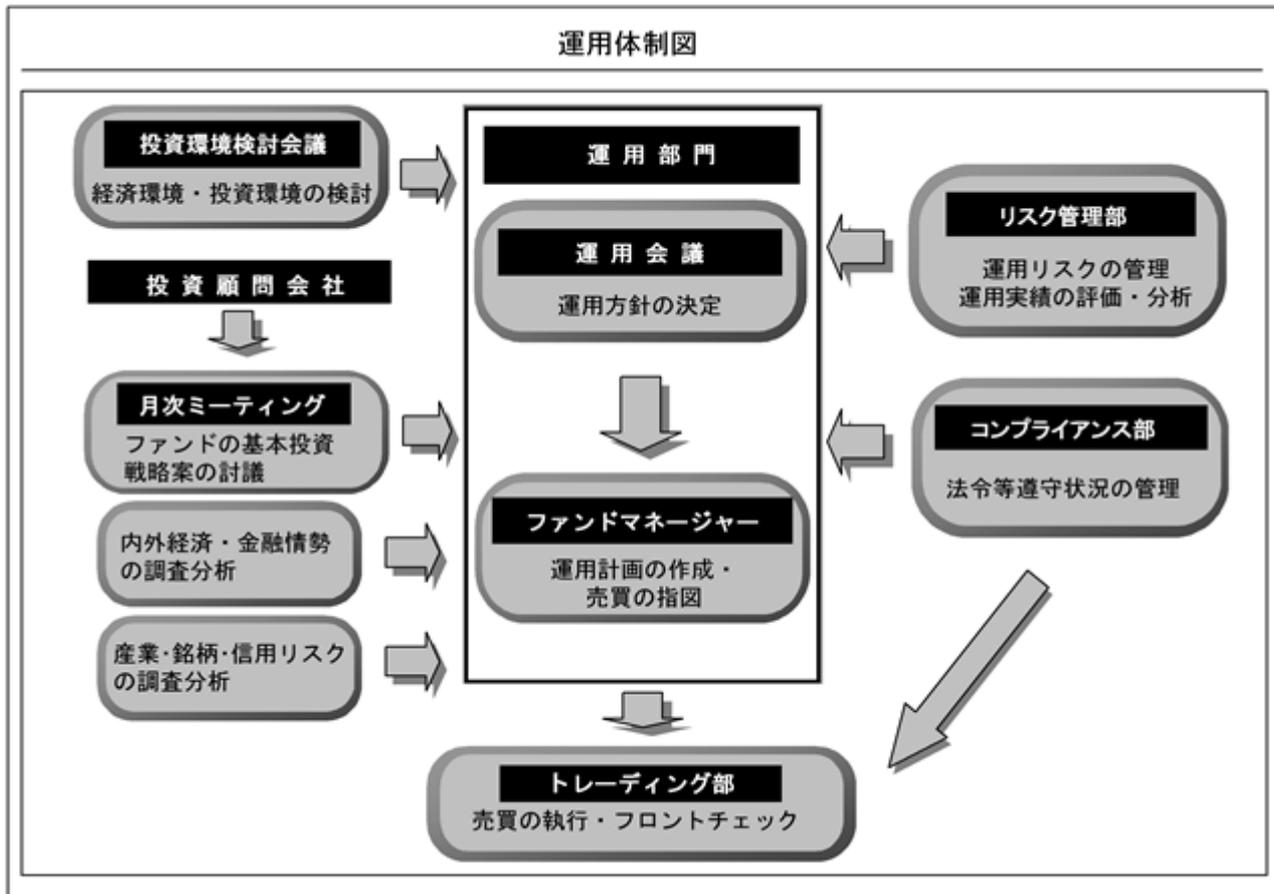
#### < 訂正後 >

ファンドの運用に関する主な会議および組織は次の通りです。（平成26年11月末現在）

会議	役割・機能
投資環境検討会議	原則として月 1 回投資環境検討会議を開催し、経済環境等の長期的な構造変化や中長期的な投資環境について検討を行います。

運用会議	原則として月1回運用会議を開催し、運用方針ならびに収益分配金および収益分配金の決定に関する方針等の決定を行います。
------	---

組織	役割・機能
運用部門（ファンドマネージャー）	ファンドマネージャーは運用会議にて運用方針が承認された後、運用計画書を作成します。この計画に基づいて売買の指図を行い、ポートフォリオを構築します。なお、随時投資環境、投資対象ならびに資産状況について分析および検討し、ポートフォリオの見直しを行います。



（注）投資顧問会社（BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社）との投資顧問契約は、平成27年8月4日付で解約する予定です。なお、同社からの信託財産の運用に係る助言および情報提供は、平成27年8月3日付で終了する予定です。

#### 参考

ファンドの運用は、運用部門の債券運用部が担当し、ファンドマネージャー3名で運用を行い、トレーディング部、リスク管理部、コンプライアンス部においては総勢30名程度で上記業務に当たっております。

運用体制に関する社内規則等は次の通りです。

委託会社は、「組織規程」において、ファンドの運用方針等を決定する機関として運用会議をおくなどの運用体制を定めています。ファンドマネージャー（運用担当者）の適正な行動基準の確立のために「運用担当者規則」を定めています。

関係法人に関する管理体制は次の通りです。

委託会社は、投資顧問会社の業務執行状況等に基づき、定期的に適正性を確認します。

また、受託会社については、年1回、内部統制の整備および運用状況に関する報告書を入手し、その内容の確認を行っています。

平成27年8月4日以降の関係法人に関する管理体制は以下の通りとなる予定です。

・委託会社は、受託会社より年1回、内部統制の整備および運用状況に関する報告書を入手し、その内容の確認を行っています。

（注）組織変更等により前記の名称、人数または内容等は変更となる場合があります。

#### 4【手数料等及び税金】

##### （3）【信託報酬等】

<訂正前>

- a. 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.134%（税抜1.050%）の率を乗じて得た額とします。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

1万口当たりの信託報酬： 保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × （保有日数 / 365）
---

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- b. 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。信託報酬の平成26年11月末現在の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。（委託会社の信託報酬には、投資顧問会社への投資顧問報酬が含まれます。）

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
委託会社	0.650% ~ 0.450%	ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等
販売会社	0.350% ~ 0.550%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.050%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

委託会社および販売会社の配分は、純資産総額に応じて以下の通りとなります。

純資産総額に応じて	委託会社	販売会社	受託会社
500億円以下の部分に対して	0.650%	0.350%	0.050%
500億円超1,000億円以下の部分に対して	0.550%	0.450%	
1,000億円超の部分に対して	0.450%	0.550%	

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

<訂正後>

- a. 信託報酬の総額は、ファンドの計算期間を通じて毎日、信託財産の純資産総額に、年1.134%（税抜1.050%）の率を乗じて得た額とします。信託報酬は消費税等相当額を含みます。

1万口当たりの信託報酬： 保有期間中の平均基準価額 × 信託報酬率 × （保有日数 / 365）
---

上記の計算方法は簡便法であるため、算出された値は概算値になります。

- b. 信託報酬は、毎計算期末または信託終了のとき信託財産中から支弁します。信託報酬の平成26年11月末現在の各支払先への配分（税抜）は、以下の通りです。（委託会社の信託報酬には、投資顧問会社との投資顧問契約に基づく投資顧問報酬が含まれます。当該投資顧問契約は、平成27年8月4日付で解約する予定です。）

支払先	配分（税抜）	対価として提供する役務の内容
-----	--------	----------------

委託会社	0.650% ~ 0.450%	ファンドの運用、受託会社への運用指図、目論見書等の作成等
販売会社	0.350% ~ 0.550%	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等
受託会社	0.050%	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

委託会社および販売会社の配分は、純資産総額に応じて以下の通りとなります。

純資産総額に応じて	委託会社	販売会社	受託会社
500億円以下の部分に対して	0.650%	0.350%	0.050%
500億円超1,000億円以下の部分に対して	0.550%	0.450%	
1,000億円超の部分に対して	0.450%	0.550%	

上記信託報酬には、別途消費税等相当額がかかります。

## 第三部【委託会社等の情報】

### 第2【その他の関係法人の概況】

<訂正前>

#### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

##### (1) 受託会社

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法。以下同じ。）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概要>（平成26年3月末現在）

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金：51,000百万円

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、兼営法に基づき信託業務を営んでいます。

##### (2) 投資顧問会社

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	事業の内容
BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社	100	金融商品取引法に定める投資運用業務等を営んでいます。

##### (3) 販売会社

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	事業の内容
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

#### 2【関係業務の概要】

##### (1) 受託会社

ファンドの財産の保管および管理等を行います。

##### (2) 投資顧問会社

信託財産の運用に係る助言および情報提供を行います。

##### (3) 販売会社

受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

#### 3【資本関係】

(1) 委託会社が保有する関係法人の株式のうち、持株比率が5%以上のものを記載します。

該当事項はありません。

(2) 関係法人が保有する委託会社の株式のうち、持株比率が5%以上のものを記載します。

受託会社

該当事項はありません。

投資顧問会社

該当事項はありません。

販売会社

該当事項はありません。

<訂正後>

### 1【名称、資本金の額及び事業の内容】

(1) 受託会社

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	事業の内容
三井住友信託銀行株式会社	342,037	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律（兼営法。以下同じ。）に基づき信託業務を営んでいます。

<再信託受託会社の概要>（平成26年3月末現在）

名称：日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社

資本金：51,000百万円

事業の内容：銀行法に基づき銀行業を営むとともに、兼営法に基づき信託業務を営んでいます。

(2) 投資顧問会社

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	事業の内容
BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社（注）	100	金融商品取引法に定める投資運用業務等を営んでいます。

（注）BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社との投資顧問契約は、平成27年8月4日付で解約する予定です。

主要な関係法人の異動の決定について

ファンドの主要な関係法人である「BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社」について、投資顧問契約の解約（予定）により関係法人でなくなること（異動）が委託会社により決定されました。

当該主要な関係法人の名称、資本金の額及び関係業務の概要

名称	資本金の額（百万円） 平成26年3月末現在	関係業務の概要
BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社	100	信託財産の運用に係る助言および情報提供を行います。

当該異動の理由

当該主要な関係法人との投資顧問契約を解約するため。

当該異動の年月日

平成27年8月4日(予定)

## (3) 販売会社

名称	資本金の額(百万円) 平成26年3月末現在	事業の内容
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	40,500	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。

## 2【関係業務の概要】

- (1) 受託会社  
ファンドの財産の保管および管理等を行います。
- (2) 投資顧問会社  
信託財産の運用に係る助言および情報提供を行います。
- (3) 販売会社  
受益権の募集の取扱い、一部解約の実行の請求の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金、一部解約金および償還金の支払いの取扱い等を行います。

## 3【資本関係】

- (1) 委託会社が保有する関係法人の株式のうち、持株比率が5%以上のものを記載します。  
該当事項はありません。
- (2) 関係法人が保有する委託会社の株式のうち、持株比率が5%以上のものを記載します。  
受託会社  
該当事項はありません。  
投資顧問会社  
該当事項はありません。  
販売会社  
該当事項はありません。